

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 1 区分

【発行日】平成 25 年 3 月 21 日 (2013.3.21)

【公開番号】特開 2012-178312 (P2012-178312A)

【公開日】平成 24 年 9 月 13 日 (2012.9.13)

【年通号数】公開・登録公報 2012-037

【出願番号】特願 2011-41457 (P2011-41457)

【国際特許分類】

H 0 1 M 4/525 (2010.01)

H 0 1 M 4/131 (2010.01)

H 0 1 M 10/0525 (2010.01)

【F I】

H 0 1 M 4/52 1 0 2

H 0 1 M 4/02 1 0 2

H 0 1 M 10/00 1 0 3

【手続補正書】

【提出日】平成 25 年 2 月 1 日 (2013.2.1)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

組成式  $L i_{1.1+x} N i_a M^1_b M^2_c O_2$  (式中、 $M^1$  は Mo 及び W のうち少なくともいずれかを含み、 $M^2$  は Mn である。- 0.07  $x$  0.1、0.90  $a$  0.98、0.02  $b$  0.06、0.00  $c$  0.06 である。) で表されることを特徴とする正極活物質。

【請求項 2】

0.94  $a$  0.98 であることを特徴とする請求項 1 記載の正極活物質。

【請求項 3】

- 0.04  $x$  0.05 であることを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の正極活物質。

【請求項 4】

0.03  $b$  0.05 であることを特徴とする請求項 1 ~ 3 のいずれか一項に記載の正極活物質。

【請求項 5】

請求項 1 ~ 4 のいずれか一項に記載の正極活物質と、バインダとを含むことを特徴とする正極合剤。

【請求項 6】

請求項 5 記載の正極合剤と、この正極合剤を塗工した正極集電板とを含むことを特徴とする正極。

【請求項 7】

リチウムを吸蔵放出可能な正極及び負極と、前記正極と前記負極との間に挟まれたセパレータと、非水電解質とを含み、前記正極は、請求項 5 記載の正極合剤を含むことを特徴とするリチウムイオン二次電池。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 2 2

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 2 2 】

前記正極活物質は、 - 0 . 0 4 x 0 . 0 5 であることが好ましい。